



美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校
すすんで学び行動しよう
がんばるあっぱしい

第 2 号
令和 7 年 4 月 22 日発行
美杉中学校長

～日常生活が始まりました～

始業式、入学式から2週間がたち、様々な行事もほぼ終わり平常授業になってきたり、部活動も始まったりしています。各教科・学級の担当者になります。よろしくお願いいたします。

国語(全)…中村 ・ 社会(全)…峰田 ・ 数学(全)…野呂
理科(全)…瀬古 ・ 英語(1、3年)…出口
英語(2年)…笹山、福永 ・ 体育(全)…原島 ・ 音楽(全)…馬原
美術(全)…倉田 ・ 家庭(全)…平野 ・ 技術(全)…中林
杉の子…多氣

さて、授業についてです、今授業は変わろうとしています。「主体的、対話的で深い学び」という言葉がよく聞かれます。ご存じですか？10 年ほど前にこのような話を聞きました。幼稚園の子供たちを想像してください。例えば、泥遊びをしたい子供は泥遊びをします、ままごとをしたい子供はままごとをします（興味関心をもとにした主体性）。泥遊びをしている子供たちで、水流してみる？とか、ここにダム作る？とか相談して、泥遊びのノウハウが蓄積されていきます（対話をすることで新たなことに気づく、考えを深めるなど）。このようなプロセスを授業に入れていこうという話でした。当時は、私も授業では無理だと思っていましたが、長い月日をかけて、今変わろうとしています。ただ、これまで培ってきた大事な教育もありますので、そこはバランスかと思っています。

【 名 言 】

「できない自分をはずかしいとか嫌いだとか思うかぎり、永遠に幸せになれないでしょう。できないことも含めて、今のありのままの自分を認める勇気を持つ者だけが本当に強い人間になれ、幸せになれるのです」

アドラーという心理学者の言葉です。できないことは誰にでもあります。逆に、人から見ると「すごいな、こんなことができるんや」と感心することもあるはずですよ。「自分のことは自分で」とよく言われますが、困ったら人に頼ったらいいと思います。そして大切なのは、「ありがとう」の一言を返すことです。



【 雑 感 】

昭和51年4月8日（1976年）に開校した美杉中学校ですが、来年で50周年を迎えます。

さて、4月に着任して思ったことです。校舎は、くたびれてきましたが、校舎内はすごくきれいなことでした。新たに着任した先生も同じことを感じていたようです。

学校が動き出し、わかりました。生徒の皆さんがしっかりと掃除をしています。時間の関係で週2回の掃除となっていますが、来校した人がはっとするようなきれいさを続けられたらと思います。

